

音楽 2018華麗なる広島ニューイヤーコンサート
新春にぴったりな楽しい音楽会。

500個の風船や紙吹雪が舞う、おなじみの音楽会。出演者は、広島ジュニアマリンバアンサンブル、広島マリンバオーケストラ、ソリストの石原有希子さん(マリンバ)。パリから小島燎さん(ヴァイオリン)、ミラノから種谷典子さん(ソプラノ)など、広島ゆかりの豪華なメンバーも帰国して出演。サント・トマス大学オーケストラもゲスト出演。指揮はダニエル・バルトロメさん。

時/ 1月7日(日)13:30～
会/ 広島国際会議場 フェニックスホール
料/ 2,000円、高校生以下1,000円
(当日券は各+500円)
問/ 広島ニューイヤーコンサート実行委員会
TEL.082-241-8868 (WEB有)



音楽 室内合唱団「^{ゼロ}」4th コンサート
教会内に響く、無伴奏合唱。

2013年に結成して以来、数々の賞を受賞。11月の「第70回全国合唱コンクール全国大会」では、見事銅賞に輝いた。定期演奏会は、客演指揮に「東京混声合唱団」の松原千振氏を招聘。今年は近代フランスの作曲家によるミサ曲を中心に発表する。11月の大会でも披露した「混声合唱の為にピエター・隠れ切支丹二つの唄ー」(作曲/千原英喜)も。美しい混声合唱が教会内に響く。

時/ 1月21日(日)16:00～
会/ 日本基督教団 広島流川教会
料/ 1,500円、高校生以下500円
問/ 寺前 TEL.080-1930-7202
公益財団法人広島市文化財団広島市文化振興基金助成事業

演劇 演芸 舞踊 劇団月曜会 「街道筋」
ロシア革命前夜の人々を描く。

1959年より活動する、広島のお舗劇団。今回はロシアを代表する劇作家アントン・チェーホフの作品を上演する。舞台は19世紀末のロシア、嵐の中にある田舎の小さな安宿。集うのは、落ちぶれた地主、巡礼の老人、旅人、流れ者など。雑多な人々の人間模様を描く。作品が書かれた1885年は、ロシア革命前夜。「現代にも通じる、時代の空気を感じて」とメッセージを込め演じる。

時/ 1月20日(土)、21日(日)
27日(土)、28日(日)
土曜日は15:00～、19:00～
日曜日は14:00～、17:00～
会/ ACCA (アッカー)(中区榎町4-27)
料/ 一般2,000円、中高生500円
問/ 劇団月曜会
TEL.082-234-9656



2005年、初演時の舞台。



演劇 演芸 舞踊 劇団Tempa第9回公演 世界を崩したいなら泣いた雫を活かせ
短編3作、テンポ良く展開!

2011年に旗揚げした広島のお舗劇団が、今回は短編3作を上演する。1作目は、詐欺に騙され泣かされる「もう騙さないで」。2作目は「猿」と「私」の奇妙な暮らしを描く「テノヒラガエシ」。これら2作は大阪の劇作家による作品。3作目はTempaオリジナルの「ひかり、射す」。法事の席で再会した兄妹の物語。テンポ良く楽しめそう。28日の1回目公演は、ゲストを迎えてのトーク付き。

時/ 1月27日(土)19:00～
28日(日)11:00～、15:00～、18:00～
会/ 横川シネマ
料/ 一般2,000円、大学生1,800円
高校生以下1,500円
※当日券は各+500円
問/ 劇団Tempa
TEL.090-5690-2062 (WEB有)

映像 『時の行路』映画化『ハケン』広島推進企画 『東京難民』上映会
若者に迫る貧困、闇ビジネス。

派遣労働者の雇い止めを描いた小説『時の行路』の映画化実現を呼びかける会による主催。映画『半落ち』や『ツレがうつになりまして』の佐々部清監督による『東京難民』を上映する。普通の大学生活を送っていた主人公(中村蒼)がある日、父親の失踪で大学に通えなくなる。生活に困窮し、闇ビジネスに手を染め、転落……。誰にでも起こりうる貧困。心に波紋を描きそう。

時/ 1月13日(土)10:30～、14:00～
会/ 合人社ウエンディひと・まちプラザ
マルチメディアスタジオ
料/ 一般1,000円(当日1,300円)
高校生以下500円(当日券のみ)
(15歳未満は要保護者の同伴)
問/ 『時の行路』映画化広島推進会議
TEL.090-7540-4596

